



# こころのねっこ

人の人生を1本の木に例えるなら、幼稚園は根っこを育てる大切な時期だと考えています。これから芽を出し、枝を伸ばし、葉を茂らせ、花を咲かせ、果実が実る。そのための栄養を吸収し、木を一生支えていく大事な役割を果たすのが根っこです。

そんな目には見えにくいけれど、とても大切な子どもたちの『こころのねっこ』の育ちを保護者の皆様と共有したいと考え、タイトルにしてみました。

この『こころのねっこ』は毎月の終わりに、その月の子どもの育ちや、遊びと生活の姿を写真を交えてお伝えしていこうと思います。保護者の皆様には、園での子どもたちの姿を知って頂くとともに、お子様自身や担任の先生と「こんなことがあったんだね」と話すきっかけにできれば嬉しいです。



私たちが4月に大切にしていることの1つは**担任との関係づくり**です。寂しい気持ちを受け止めてくれたり、一緒になって遊んでくれたり。そばにいてくれるだけで安心する子もいます。まずは先生との間に“安心基地”を作ること。安心基地がしっかり作れると子どもたちは自然に周りへ目が向き、友達と関わろうとしたり、何かに向かって頑張ろうとするようになります。それまではゆっくり見守ってあげてくださいね。

**年少さん**にとってはすべてが「なにこれ?」「すごい!」の連続です。

上履きのまま外に出たり、ところかまわず泥水をまいたり自由奔放。でも、ルールを厳しく伝えるのではなく、まずは子どものありのままの姿を受け入れ、褒めたり認めたりすることを大事にしたいです。それが「ぼくはこれでいいんだ」と自信に繋がり、自己発揮できるようになっていきます。



**年中さん**は新入園児と進級児が入り混じり、戸惑いと混乱からのスタートです。まだまだおうちの人と離れるのは寂しい。だけどちょっとお兄さんお姉さんになれたのは嬉しい。そんな葛藤があるのも年中ならではのです。年中の1年間はじわじわと行きつ戻りつ、しかし確実にその後の成長に表れてくる大切な学年です。豊かな感受性と独自の発想を楽しむ愉快的な1年を期待したいですね。

**年長さん**はこれまでの経験をもとに自分自身の力や友達と力を合わせながら自分たちで生活を作り出していくことができる学年です。3年間の中で、もっとも“根っこ”が育つ時期でもあります。～が好き、相手を思いやる心、友達との協力など一生を豊かに生きる大事な心を育てていく1年になっていくはずです。



園庭の片隅に、小さな菜園も作りました。野菜やハーブを子どもたちと育てていく予定です。自分の手で育てた野菜はきっと格別な味のはず。菜園の名前は「にじいろハウス」。ふじ組の子どもたちが話し合っていて考えられました。

# インタビュー ～あの先生に聞いてみた！！～



ここでは、子どもたちと日々関わる先生たちに保育にまつわるあれこれを語ってもらうコーナーを掲載したいと思えます。ふだん先生達がどんな思いで子どもと向き合っているのか。なかなか聞く機会がないようなことを副園長がズバズバ聞いてみたいと思います。

綾南幼稚園の先生達についてもっと知ってもらうことで、子どもたちにも保護者の皆様にも親しみを深めてもらいたいと考えています。

記念すべき初回はことり組 あい先生、れんげ組 みなこ先生、ばら組 あやか先生の3名です。

それではインタビューを始めたいと思います。

- ①入園・進級から1カ月が経ちました。先生から見て、自分のクラスはどうですか？
- ②小さい頃はどんな子どもでしたか？
- ③この仕事を選んだきっかけは何ですか？もし幼稚園の先生じゃなかったら、何をしていましたか？
- ④ふだん、子どもと関わる上で大切にしていることは何ですか？
- ⑤お休みの日はどんなことをして過ごしていますか？
- ⑥じゃあ、最後にクラスの保護者の皆様にも何か一言お願いします！



けんすけ先生

- ①にぎやかで自由。好奇心が1番に来る子達。やりたい事まっくら。泣くことも少なくなってきました。
- ②平屋の幼稚園だったので、幼稚園に行くとき駆けずり回っていました。ヤギにエサをあげたり、鉄棒にぶら下がっていたり。家に帰ると、紙とペンとハサミでひたすら何かを作っているのが好きでした。
- ③動物関係の仕事（獣医、トリマー）を高校生までは本気で目指していました。でも同じくらい子どもが好きだったから幼稚園の先生になりました。
- ④子どもがのびのびと過ごせること、あまり子どもをカチッとさせないこと。大きくなるとなかなかしてもらえないから幼稚園の時期はだっこやおんぶをたくさんしてあげたいです。
- ⑤愛猫のアル（オス 6歳）と戯れています。保護猫なので甘えん坊。いまだに指しゃぶりをするけど、それが可愛くて癒されています〜♡
- ⑥一緒に1年間楽しみましょう！



あい先生



- ①それぞれ好きな遊びを楽しんでいますね。ままごと、ブロック、積み木、外ではダンゴムシ探し、図鑑を見てダンゴムシの顔に興味を持ったり。自然物を使った色水遊びも盛り上がっています。
- ②近所に同じくらいの子がいたので毎日外遊び。小学校に上がると、恥ずかしがり屋でおとなしい子になりました。
- ③小さい頃から幼稚園の先生になりたかった記憶はあります。けど特に大きなきっかけがあったわけではなく、気が付いたら幼稚園の先生を目指していました。やってみたい仕事は色々あるけど決められません（笑）
- ④笑顔を絶やさないと。それと子どもたちが先生の顔色を見て行動するようになってほしくない。なんでも言いやすい環境を作ってあげたいです。
- ⑤美味しいものを食べに行くこと。最近では行けていないけど、今行ってみたいのは湯河原の『飯田商店』のラーメン。
- ⑥あたしも（あい先生と同じで）一緒に楽しみましょう！



みなこ先生



- ①子どもそれぞれの好きなこと、遊び、姿が分かってきました。遊ぶことがすごく好きなクラスなので、どこで何をしているのか分からないくらい夢中になって遊んでいます。年長としての活動（マーカー、絵の具）への憧れも強いです。
- ②男の子とサッカー・泥遊びでよく遊んでいました。スカートが得意じゃなくて、身体を動かすことが好きな子でした。けがもたくさん。でも人前で何かをするのは恥ずかしくて苦手でした。でも家に帰るとお店屋さんごっこの真似をしたりしていました（笑）
- ③普段は活弁ですが、人前では恥ずかしがりやなところがありましたが、保育園の時の先生が自分の内面に気付いてくれて「そのままでもいいんだよ」と言ってくれたことが今の自分に繋がっています。子どもたちにもそういうふうに関わってあげられたら。あとは子どもと遊ぶのが好きです。童心に帰れるから楽しいなと思っています。一度カフェの店員さんもやってみたかったです。
- ④子どもたちがやりたいことを否定せず、応援すること。その中でもルールややり方は保育者として伝えていきたい。子どもの目線でいろんなことを感じられるようになりたいです。
- ⑤気になるものを見に行ったり食べに行ったりすること。その中で保育に使えるものを見たりするのも好きです。家の中ではケツメイシのライブDVDを見て盛り上がってみたい・・・好きな曲は ありすぎて1曲選べません！（笑）
- ⑥実はしゃべるのが苦手なので、しゃべりかけてくれると嬉しいです（笑）



あやか先生



※次回、5月号はさえ先生、ゆき先生、まな先生のインタビューを掲載予定です。